



平成30年度 岩手県における主な赤十字事業

日本赤十字社岩手県支部は、平成30年度も継続して「海外救援金」を活用した復興支援事業を行ないます。

1 赤十字奉仕団ふれあい交流会（復興支援事業） 各赤十字奉仕団が随時実施

仮設住宅にお住まいの方々に対して、各赤十字奉仕団が特色を活かした催しを企画。歌や踊りなどをとおして交流を図ったり、あたたかいお食事を提供したりすることでより多くの住民に集まっていたり、コミュニケーションを持てる場を提供しています。



2 ノルディックウォーキングとこころのケア（復興支援事業） 毎月8か所（一日に2か所ずつ）仮設住宅を訪問

病気やケガの予防を含めたこころと体の健康づくりを支援。また、運動と併せて季節のイベント等（手芸、簡単に出来る体操）を行うことで、住民同士の交流を促進し、皆さんが抱えるストレスや健康不安などの軽減を図っています。



3 盛岡赤十字病院職場体験（復興支援事業） 8月7日（火）10時30分～15時30分

将来、医療従事者を目指す沿岸被災地の中・高生が医師・看護師・臨床工学技士等7部門の医療現場を体験いただく病院職場体験を実施します。



4 日本赤十字社第1ブロック支部合同災害救護訓練 10月12日（金）、10月13日（土）

日本赤十字社第1ブロック（北海道・東北）では、本年、岩手県が開催県となり各支部及び赤十字関係機関並びに防災関係機関の協力を得ながら、災害対応能力の向上を図ることを目的に二日間に渡って実施します。



5 日本赤十字社岩手県支部創立130周年記念赤十字大会 11月2日（金）13:30～16:00

日赤岩手県支部（支部長・達増拓也知事）の創立130周年記念大会が、岩手県民会館で開催されます。赤十字事業に貢献した個人や団体を表彰するほか、活動体験の発表や、地元芸能などアトラクションも予定されています。



JRC (青少年赤十字) について ～その歴史から、岩手県の状況まで～

● JRCは実際の活動経験から生まれた

JRCとは、Junior Red Cross の略称で、日本語では、「青少年赤十字」のことを言います。第一次世界大戦にカナダ、アメリカ、オーストラリアの学校の先生と児童・生徒は、ヨーロッパの戦場となった国々の少女や傷病者をなぐさめ励ますために、自分たちが学校で作った作品や手紙を送ることにしました。このとき、世界へ広がる赤十字を通じて送るのが一番よいと考え赤十字に依頼したのです。赤十字は、こうした人々を援助する学校や生徒たちの活動に賛同しました。これがきっかけとなって1922年（大正11年）JRCが生まれたのです。

※日本では、同じ年に滋賀県の守山小学校に最初のJRCが誕生しました。

● 「気づき、考え、実行する」JRCの役割と活動

JRCは、国家、民族、宗教を超えて世界中の人々が、最低限、共感することのできる「世界共通の価値」と言われる「人道」を基盤にしています。「人道」とは難しいものではなく、誰にも本来ある「やさしさ」や「思いやり」の心であり、それを引き出し育てることがJRCの役割であると言えます。

また、JRCには、「気づき、考え、実行する」という態度目標があります。これは、指示待ちの子どもが多くなっているといわれる今日、主体的な子どもに育てるための魔法のような言葉と言えます。自分の行動を決めるのは自分（わたし）です。自分が動かなければ物事は進展しません。誰かがやるのではなく、自分が気づいて、考え、実行する、決して「これをしなければならぬ」といった義務のようなものはありません。地域や世界の人々の平和や福祉に貢献するような活動を、学校の裁量で自由に行うことができます。

● 岩手県のJRCの状況

現在、岩手県でのJRC加盟状況は次のとおりです。

幼稚園・こども園	15
保育園	29
小学校	81
中学校	36
高校・支援学校	23
合計	184

(H29年度実績)



JRC 登録式の様子(二戸市立福岡小学校)

毎年加盟校で登録式を行っています。登録式は、JRCの一員としての自覚を新たにし、様々な活動に対して主体的に取り組もうとする意識を確認したり高めたりする大切な場です。日赤岩手県支部では、元学校教職員で構成される赤十字賛助奉仕団のお力添えをいただき、この活動の支援に努めています。

岩手県のJRC加盟率は、小・中・高（支援学校含）で23.8%（H28年度実績）です。全国的にも決して高い加盟率ではありません。皆様に少しでもJRC活動を理解していただくため、岩手の子どもたちを主体的に、そして将来、地域の赤十字活動を担う青少年として育てていきたいと考えています。



平成29年度にご協力いただいた日本赤十字社岩手県支部活動資金のご報告

一般の皆さまからのご協力	171,239,425円
法人の皆さまからのご協力	20,816,901円
総 額	192,056,326円

※上記の金額は特別養護老人ホーム日赤鷲鳴荘 移転新築特別寄付金へのご協力も含まれます。

皆さまのあたたかいご支援に心よりお礼申し上げます。赤十字活動の推進のため、引き続き、皆さまのご協力をお願い申し上げます。活動資金や国内義援金・海外救援金へのご協力については当支部ホームページをご覧ください。

日赤岩手県支部

検索

赤十字いわて

No.51
2018 夏季号

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

「パパ！ みる～？」 子どもたちの好奇心に大人も顔負け！

赤十字の仕事をどんどん体験してみよう。未来の君たちの活躍は私たちの願いです。イオンモール盛岡で「赤十字ふれあいフェスティバル」を開催しました。特集記事へ





特集

赤十字ふれあいフェスティバルを開催 5月26日(土) イオンモール盛岡

「あの子の生き生きした眼差しが忘れられない…。」そんな言葉がスタッフからこぼれるほど、会場の雰囲気は子どもたちの熱気でいっぱいでした。体験を通じて赤十字の仕事や活動を知っていただく！赤十字を伝えたい一心でスタッフが集結し、「体験型プログラム」で皆さまをお迎えすることができました。

●日赤岩手県支部のブースでは、子ども用の救護服や看護衣に着替え、スタッフの指示で何度心臓蘇生マネキンの胸部を両手で圧迫しました。「面白かった」と笑顔で答えてくれました。AEDに挑戦した子もいました！



●盛岡赤十字病院のブースでは、医師や検査技師の手ほどきを受けながら縫合体験・内視鏡操作などに挑戦です。純粋に、黙々と取り組む子どもたちの姿はとってもかわいいのです。そして頼もしいと感じました。



●日赤岩手乳児院と特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘のブースでは、手作りおもちゃを親子で完成させたり、血圧測定や高齢者疑似体験をしたり、家族ぐるみで参加をしていただきました。



●さらに、県立不来方高校音楽部の合唱が会場を盛り上げました。全国トップレベルの歌声は圧巻！お客様の中には涙を浮かべて聞き入る方もあり、会場全体を感動で包み込んでいただきました。



今年で18回を迎えたフェスティバル、多くの親子での参加をいただきスタッフ一同感謝しています。ありがとうございました！

特別養護老人ホーム日赤鷺鳴荘

リニューアルオープン！

当施設は、昭和54年から雫石町唯一の特別養護老人ホームとして地域のニーズに応えるべく事業に取り組んで参りました。しかし、建物の老朽化が著しいことから新築移転計画が策定され、平成29年6月に着工し、本年7月、ついに新築移転オープンの運びとなりました。新たな鷺鳴荘は、全室個室のユニットケアとなります。「ユニットケア」とは、自宅に近い環境の介護施設において、入居者様一人ひとりの生活リズムや個性に応じて暮らしていけるようにサポートしていく介護手法のことです。日赤鷺鳴荘では、1ユニット10名とし、各ユニットに配置された固定スタッフが入居者様の暮らしをサポートします。より家庭に近い環境で入居者様が自分らしい暮らしを保てるよう、スタッフ一同努めて参ります。新しく生まれ変わった日赤鷺鳴荘へのご理解とご支援をよろしくお願い致します。



鷺鳴荘外観全貌



エントランス



ユニット入口



入居者同士の団樂

施設 TOPICS

盛岡赤十字病院

紹介状を持たない初診・再診患者さまへのお知らせ

当院は、平成30年4月1日の診療報酬改定により、400床以上の地域医療支援病院として、紹介状をお持ちにならない患者さんについて「初期治療は診療所で、専門医療は病院で行う」という国の医療機能分化の方針に則り、初診時、再診時に保険外併用療養費をご負担いただくこととなりましたので、皆様のご理解をお願いします。

名称：初診時保険外併用療養費・再診時保険外併用療養費
金額：初診時 5,400円(税込)・再診時 2,700円(税込)



※初診患者の定義

許可病床400床以上の地域医療支援病院は、(中略)、他の保険医療機関等からの紹介なしに受診した患者さんについては、併用療養費として、初診時に5,000円以上の金額の支払を受けること。

※再診患者の定義

許可病床400床以上の地域医療支援病院は、(中略)、他の病院又は診療所に対し文書による紹介を行う旨の申出を行ったにもかかわらず、当該病院を受診した患者さんについては、併用療養費として、再診時に2,500円以上の金額の支払を受けること。



詳しくは医事課へお問い合わせ下さい

岩手県赤十字血液センター

感謝！献血ルームメルシー30周年！！

merci もりおか献血ルームメルシー
morioka blood donation room
(盛岡市大通2-3-7 CT33ビル4階)

受付時間 全血献血 10:00~12:45/14:00~17:45
成分献血 10:00~12:00/14:00~17:00
土曜日・日曜日・祝日は、昼時間も中断せず献血を実施しています。

電話番号 019-653-6511
(成分献血の予約の方は0120-133-343)

交通手段 JR盛岡駅から徒歩15分。お車でお越しの方は、指定駐車場があります。
(指定駐車場については上記電話番号にお問い合わせください)

定休日 12月31日・1月1日



盛岡市大通の「もりおか献血ルームメルシー」は本年11月に開設30周年を迎えます。おかげさまで、約45万人の献血者にご協力いただきました。(平成30年7月末現在のべ人数)

平日は医療機関からのニーズに応えるために多くの方のご協力が必要です。

只今、火曜日限定で献血にご協力いただいた方を対象に「ハンドエステ」を実施しています。

また他にも様々なサービスをご用意して皆さまをお待ちしています。



「ハンドエステ」
火曜日実施時間
12:00~16:00
(第4火曜日休み)



※「ハンドエステ」など各イベントは都合によりお休みさせていただく場合がございますので、予めご了承ください。

詳しいイベント情報やお知らせ、ヘルスケア情報はホームページで確認できます。
<https://www.bs.jrc.or.jp/th/iwate/index.html>

岩手県赤十字血液センター

日赤岩手乳児院

乳児院ってどんな所？

日赤岩手乳児院は岩手県に2つある乳児院の1つです。

乳児院は様々な理由で、家庭で養育できない乳幼児を預かって養育する児童福祉施設です。生まれて間もない赤ちゃんから就学前までの子ども達を、短期間(1日~数日間)でもお預かりし、保育士、看護師、栄養士、心理担当職員など、スタッフが子どもとの信頼関係を大切に家庭的な雰囲気の中でのおびのびと育てています。

このような養育機能を利用して、電話による育児相談、市町村との契約による子育て短期支援事業、もぐもぐ食育体験教室、パパママ体験教室なども行っています。

また、ボランティアや各教育機関の実習生も積極的に受け入れています。年間ではボランティアが300人以上、実習生が約30名(10校)となっています。

写真はそのボランティアと実習生の活動の様子です。

